

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

関西支部第 25 期第 5 ～ 8 回常任理事会報告
2003 年度関西支部例会・講演会開催報告
日本気象学会関西支部第 26 期役員選挙に係わる選挙管理委員の任命
日本気象学会関西支部第 26 期役員選挙告示
関西支部 2004 年度理事会・総会・年会の開催について 〒 540-0008
関西支部 2004 年度例会開催募集 大阪市中央区大手前 4 丁目 1-76
関西支部第 26 回夏季大学について 大阪合同庁舎第四号館
研究グループの新規募集 大阪管区气象台内
2004 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集 日本気象学会関西支部
年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について 振替 00980-5-18318
バックナンバー情報 TEL (06)6949-6323
住所変更される方へのお願い FAX (06)6944-2121

ホームページ <http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/>
E-mail msj-knsi@ma.kcom.ne.jp

関西支部第 25 期第 5 ～ 8 回常任理事会報告

関西支部第 25 期第 5 回常任理事会は 2003 年 8 月 4 日、第 6 回常任理事会は 2003 年 10 月 2 日、第 7 回常任理事会は 2003 年 12 月 9 日、第 8 回常任理事会は 2004 年 3 月 4 日に開催され、それぞれ以下の議題について報告および討議を行いました。

第 5 回常任理事会(8/4)

第 25 回夏季大学の報告 例会について
50 周年記念誌作成について 支部ニュース 244 号(案)について
その他

第 6 回常任理事会(10/2)

50 周年記念誌について 例会について
関西支部第 25 回夏季大学について 2005 年全国大会について
その他

第 7 回常任理事会(12/9)

50 周年記念誌について 地区例会について
夏季大学について 2005 年全国大会について
次期役員選挙

第 8 回常任理事会(3/4)

例会報告 支部ニュース 245 号(案)について

選挙関連（次期体制）について
関西支部第26回夏季大会について
本部への事業報告について

2005年全国大会について
2004年度関西支部総会について
その他

なお、議事の詳細については関西支部のホームページにある「関西支部常任理事会議事録のページ（http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/meeting/meeting_log.html）」を御覧ください。

2003年度関西支部例会・講演会開催報告

第1回例会（中国地区、広島地方気象台で開催）

第1回例会は、2003年11月8日（土）、広島合同庁舎4号館15階防災連絡室で開催され、地元の広島地方気象台、広島大学、県立広島女子大学、広島県保健環境センターをはじめ、岡山大学、鳥取地方気象台などから約39名の参加者があった。発表件数は21件と大変多く、午前中からの開始にもかかわらず、一題あたり質疑を含め13分という短い発表時間となった。しかし小野幸春会員（広島地方気象台）、加藤内蔵進会員（岡山大学）、塚本修会員（岡山大学）、開発一郎会員（広島大学）の座長の進行によって、うちとけた雰囲気の中で熱のこもった発表が行われた。

発表内容は、中国地方の雷雨や大雨、日照や盆地霧などの研究、総観気候や梅雨前線の解析、黄砂の研究、中国乾燥地域・チベット高原・モンゴル高原などでの観測や資料解析、大気・海洋間や水稻群落におけるガス交換の研究、さらに酸性雨に関連した報告など、いつものことながらまことに多岐にわたっていた。一般の研究発表の後、大阪管区気象台長で学会の支部長でもある大西晴夫会員によって「気象学会と気象庁～その望ましい連携とは」と題する特別講演が行われた。最近の気象庁における予報モデルや予報内容の変化、予報官に求められる役割や能力の変化、学会との関係、気象協会などとの役割分担など、変わりつつある気象庁の実状が紹介され、多くの関心が寄せられた。

特別講演終了後、市内繁華街のさる居酒屋に会場を移して懇親会が開かれた。こちらにも22名以上の参加者があり、例会の話の続きなど懇親を深めることができた。

今回は常連の岡山大学などのほか、気象台から多くの発表があった。日頃気象台と大学などとの交流の機会が少ないことを考えると、今後とも気象台の方々の参加を大いに希望したい。今回の例会開催の準備、当日の会場設営や進行、さらに懇親会にいたるまで、広島地方気象台の内野台長ほか多くの皆さんに大変お世話になりました。また特別講演を引き受けていただいた大西支部長、座長をお願いした皆さん、そのほか多くの皆さんに大変お世話になりました。ここに改めて深く感謝します。

（県立広島女子大学 宮田賢二）

第2回例会（四国地区、香川大学で開催）

第2回例会は、2003年11月21日（金）、香川大学国際交流センターで開催された。例会には高知大学、香川大学、岡山大学、津山市、近畿中国四国農業研究センター、大阪管区気象台、高知地方気象台、松江地方気象台、高松地方気象台等から43名の参加者があった。

例会は、森征洋四国地区理事の挨拶の後、千葉修会員（高知大学）、高橋永壽会員（高松地方気象台）を座長として進められた。発表題数は17題で各々の発表時間は12分とし、一題当たりの時間が短いながらも密度の濃い発表と活発な討論がなされた。

キーワードをあげると、海陸風、局地風、竜巻、ガストフロント、大雪、台風、霧、放射冷却、局地循環など、局地気象を扱う発表が多い中、東アジア気候サイクルと日本の降水、大気・海洋相互作用など、気候に関する研究発表もあり、多岐にわたるテーマについて聴くことが出来た。

一般研究発表の後、米谷俊彦氏（京都大学）による特別講演が「熱映像温度計を用いた局地気象の観測」と題して行われた。熱映像温度計の解説が行われた後、石灰洞の微気象形成や盆地霧などの局地気象について熱映像温度計、赤外線熱画像装置による観測結果が紹介された。冷気の流速や方向、霧粒の移動状況なども時々刻々に把握できる観測手段であり、興味深い講演であった。詳細は例会講演要旨集第101号をご覧ください。

特別講演後、会場を香川大学生協に移して懇親会が行われ、例会参加者の多くが参加し、昼間の議論の続きや懇談

に花が咲いた。

本例会の開催にあたり、関係者の皆様には多大なご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

(高松地方気象台 土井ひかる)

第3回例会(近畿地区、神戸大学海事科学部で開催)

第3回例会は例年どおり海洋気象学会第2回例会と共催で、2004年2月24日(火)、神戸大学海事科学部総合学術交流棟1階コンファレンスホールで開催された。例会には、神戸大学、大阪大学、京都大学、岡山大学、三重大学、岡山理科大学、大阪管区気象台、神戸海洋気象台、関西航空地方気象台、潮岬測候所、イオン情報研究所などから約60名の参加者があった。

宇治海洋気象学会理事長の開会の挨拶の後、例会は山中大学(神戸大学)、里村雄彦(京都大学)、塚本修(岡山大学)、竹見哲也(大阪大学)、関根義彦(三重大学)の各会員が順に座長を務めて進められた。午前中の2つのセッションは気象学に関する発表で、特別講演をはさんで、午後からは海洋学に関する発表が主体の3つのセッションが設けられた。

特別講演は、海洋気象学会会長の井上篤次郎氏による「帆船と海洋・気象学のはじめ」と題する講演で、大航海時代から近代まで、海洋学と気象学は帆船による安全航行をはかるため一体として進められてきた歴史が述べられた。

一方、例会の発表では、今回は発表件数が17題と例年よりやや少なかったため、質疑の時間を十分に取ることが出来、最後には英語やインドネシア語まで飛び交う、活発かつ国際色豊かな質疑のやりとりが見られた。ただ、気象学の発表が局地気象、局地気候、メソスケール現象に関するものが多かったのに対し、海洋学の発表は海洋大循環に関するものが多く、気象学と海洋学の接点がやや少ない印象を持った。井上氏が特別講演で述べられたように、本来気象学と海洋学は一体として発展してきたものであり、気象学会・海洋気象学会共催という本例会が今後も開催されつづければ、両者の交流がより深まるものと期待する。

大西日本気象学会関西支部長の閉会の辞により例会が終了した後、例会会場に隣接するラウンジで懇親会が開かれ、例会に引き続き学際的交流を深めた。

最後に、特別講演をお引き受けいただいた井上篤次郎氏、例会会場の設営・例会運営にあたられた主催者の神戸大学海事科学部のスタッフ・学生の皆さん、ならびに海洋気象学会関係各位に厚くお礼申し上げます。

(大阪管区気象台 二階堂義信)

日本気象学会関西支部第26期役員選挙に係わる選挙管理委員の任命

日本気象学会関西支部長は、日本気象学会関西支部役員選挙細則により、2004年3月1日、次の会員を選挙管理委員に任命しました。

西津正明 会員(大阪管区気象台) 溝本 悟 会員(大阪管区気象台) 坂本 啓 会員(大阪管区気象台)

日本気象学会関西支部第26期役員選挙告示

日本気象学会関西支部規約(第9条)及び日本気象学会関西支部役員選挙細則に基づき、次期役員選挙を以下の要領で実施する。

日本気象学会関西支部選挙管理委員会

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 (電話06-6949-6323)

(委員)西津正明、溝本 悟、坂本 啓

(1) 選出する役員数

常任理事7名、地区理事6名（近畿・中国・四国 各2名）会計監査1名

(2) 立候補の届出

- ア．立候補の資格 2004年4月1日現在で関西支部の通常会員である者。
- イ．届出の手続き 立候補もしくは候補者を推薦する者は、選挙管理委員会に届出用紙を請求し、必要事項を
もれなく記載の上、同委員会に提出すること（郵送可）。
- ウ．届出の期間 2004年4月1日（木）から2004年4月19日（月）までに届けること（必着）。
- エ．届出の宛先 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館
大阪管区気象台技術部気候・調査課気付 日本気象学会関西支部選挙管理委員会
- オ．立候補者の資格審査 立候補届出期間終了後、速やかに行う。
- カ．立候補者名簿の記載順序 立候補者資格審査合格者について、選挙管理委員会が抽選により定める。
- キ．立候補受付状況の公開 立候補届出者の氏名は、関西支部事務局およびホームページで随時公開する。

(3) 投票

- ア．投票の実施 立候補者がそれぞれの役員の定数を超えた場合に実施する。立候補者がそれぞれの役員の定
数内の場合は無投票当選とする。
- イ．有権者資格 2004年4月1日現在で関西支部の通常会員である者。
- ウ．選挙公報および投票用紙 選挙公報（立候補者名簿を含む）と投票用紙は、全有権者に郵送する。これが
2004年4月30日（金）までに届かない有権者は直ちに選挙管理委員会に申し出ること。
- エ．投票期日 2004年5月14日（金）までに選挙管理委員会に持参または郵送すること（郵送の場合は2004
年5月14日以前の消印のあるものを有効とする）。
- オ．投票方法 無記名文書投票。投票方法の詳細は投票用紙とともに郵送する。

(4) 開票および結果の公表

- ア．開票期日 開票は2004年5月19日（水）大阪管区気象台内にて行う。有権者はこの開票に立ち会う
ことができる。
- イ．当選者の決定 選挙細則第5条による。
- ウ．結果の公表 結果は、当日関西支部事務局（大阪管区気象台）に掲示し、かつ関西支部ホームページに
掲載する。また、「支部ニュース」第246号に掲載する。

日本気象学会関西支部役員選挙細則

1. 理事および会計監査（以下、役員）は、会員による選挙で、自薦立候補者と会員2名以上の推薦による立候補者
（以下、両者を立候補者とする）の中から選出する。
2. 常任理事および会計監査への立候補者の資格は、近畿地区（滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫各府県）在
住の会員とする。
3. 地区に属する府県、および各地区から選任する地区理事の定数は次のとおりとする。
近畿地区（滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫各府県） 2名
中国地区（鳥取、岡山、島根、広島各県） 2名
四国地区（香川、徳島、愛媛、高知各県） 2名
4. 選挙は、無記名連記の文書投票による。連記する数は、役員の定数とする。但し、立候補者が定数内の場合は無
投票当選とする。
5. 役員の当選は、常任理事と会計監査にあつては有効得票数の多い順、地区理事にあつては各地区毎に有効投票数
の多い順によって定める。ただし、得票数が有権者総数の10分の1に満たない立候補者は、役員となれない。
6. 役員が、該当する地区の外に移動したときは失格とする。
7. 役員が特別の事情により辞任を申し出た場合は、その任期中においても、常任理事会の議決により、解任するこ
とができる。
8. 役員に欠員が生じた場合は、次点者を後任役員とする。次点者がいない場合は、常任理事会の議を経て、支部長は

該当する地区の会員から、後任役員を推薦することができる。支部長が推薦した後任役員は、総会で選任されるまでの間、役員に準じて職務を行うことができる。後任役員の任期は、前任者の残り期間とする。

9. 立候補者あるいは推薦者は投票締切日の25日前までに、立候補者名、立候補する役員名を記入して、書面により選挙管理委員会に提出しなければならない。
10. 選挙に際してはその都度選挙管理委員を若干名おく。委員は会員の中から支部長が任命する。
11. 立候補者は、選挙管理委員となることはできない。
12. 選挙管理委員会は、支部規約および本細則に従い、以下の任務を行う。
選挙の告示、役員立候補者の受付と発表、投票の実施、開票と結果の発表
13. 投票を実施する場合、選挙管理委員会は、立候補者名を投票締切日の20日前までに、会員に告示する。
14. 投票は所定の投票用紙と封筒により、選挙管理委員会に郵送、または持参するものとする。郵送の場合は投票締切日の消印のあるものまで有効とする。
15. 選挙の結果は、支部長が選挙後、最初の総会で報告する。

付 則

この改正は1995年6月20日から実施する。
この改正は1998年6月17日から実施する。

関西支部 2004 年度理事会・総会・年会の開催について

2004 年度の関西支部理事会、総会および年会を以下のように開催する予定です。多数のご参加をお願いします。

日 時：6月19日（土）

場 所：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

最寄駅：JR 東西線大阪城北詰駅（2号出入口から西へ550m）
京阪・地下鉄谷町線天満橋駅
（1番出口から東へ350m）

電 話：06 - 6910 - 8500

URL：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

会 場：理事会 中会議室

総会・年会 大会議室



【総会について】

1. 総会提出議題

総会に提出したい議題があれば、4月23日（金）までに関西支部事務局までお知らせください。

2. 総会委任状について

御存知のように総会成立に要する定数が通常会員数の「2分の1」以上という極めて厳しい条件に変わっています。つきましては、総会に出席される方も出席されない方も全員、郵送等で委任状を関西支部事務局に提出していただくようご協力願います。

なお、総会に出席された場合は、総会における意思表示が委任状よりも優先されます。

3. 総会資料について

総会資料は支部ニュース（第246号）に掲載し、委任状用紙とともに総会開催日までにお届けします。

【年会について】

1. 発表申込締切日 4月23日（金）
2. 原稿締切日 5月21日（金）
3. 発表時間 1題につき概ね15分の予定です。
4. 発表申し込みについて

申込先（例会・講演会担当：内藤陽子幹事）

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科 地球物理学教室 内藤陽子 行き

E-mail アドレス msj-knsi@ma.kcom.ne.jp

申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール（締切日必着）で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。なお、ビデオおよびスライドでの発表はできません。

要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部のホームページ（<http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/regular/genko.html>）でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。

要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。

日本気象学会関西支部 2004 年度年会発表申込

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター)：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者（支部会員のみ）を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」にもとづいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申込ください。

申込先（庶務担当：二階堂義信常任理事）

〒540-0008 大阪府中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 二階堂義信

E-mail : msj-knsi@ma.kcom.ne.jp TEL : 06-6949-6321 FAX : 06-6944-2121

締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日

申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2004 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会（例会の場合は地区名を含む）：

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・旅費(片道)の見積もり：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL() FAX()
- ・連絡先 E-mail アドレス：

例会・年会旅費助成要領

(目的)

1. 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

2. 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
3. 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
4. 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)。ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
5. 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

6. 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
7. 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

8. 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

9. その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成13年6月23日から施行する。

関西支部2004年度例会開催募集

2004年度例会の開催および開催場所を下記細則により募集します。例会の開催を希望される会員は、各地区理事を通じて支部長宛申し込んでください。申込締切日は4月23日(金)です。

申込先(例会・講演会担当: 里村雄彦常任理事)

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻地球物理学教室 里村雄彦 行き

E-mail: msj-knsi@ma.kcom.ne.jp、TEL, FAX: 075-753-4273

例会開催に関する細則

(目的)

1. 気象学の研究を盛んにし、その進歩を図り、支部会員相互の情報交換等を図るために例会を開催する。

(開催・開催場所)

2. 開催及び開催場所は、原則として、第3項の開催条件をもとに、第5項の募集により常任理事会において決定する。なお、各地区理事は各地区で少なくとも年1回以上例会を開催するよう努力するものとする。

(開催条件)

3. 要望主体者側でテーマの選定、会場の確保を始めとする例会の運営をすべて行う。但し、必要な場合は、常任理事、地区理事の支援を求めることが出来る。
なお、講演の申込み受け、予稿集の作成、配布、学会員への周知(支部ニュース)は事務局で行い、運営経費として2万円を支部が負担する。

(開催回数)

4. 開催総数は年に最高5回までとする。

(要望手続き)

5. 開催、開催場所の要望については、毎年募集（支部ニュース）することとし、各地区理事を通じて支部長あてに申込むものとする。
6. 支部長は、前項の要望を受けたときは、常任理事会においてその是非を図り、結果を申込み者に通知するものとする。

関西支部第26回夏季大学について

第26回夏季大学実行委員会は里村雄彦常任理事を委員長として準備を始めました。概要は次のとおりです。詳細については、今後の「支部ニュース」や「『天気』支部だより」でお知らせします。

テーマ：「身近な気象学」（予定）

日時：7月下旬または8月上旬（予定）

場所：神戸大学（予定）

研究グループの新規募集

2004年度の研究グループを下記の助成要領にもとづき募集します。申込締切日は4月23日（金）です。調査・研究に取り組むグループは、次の事項を明記して事務局まで申し込んでください。

1. 研究グループの名称
2. 研究代表者名・住所・連絡先
3. 研究の目的
4. グループに属する会員名とその所属

研究グループ助成要領

1. 目的
日本気象学会関西支部会員同士が共同して研究活動を行う機会を与えることにより、気象学の研究を盛んにし、併せて日本気象学会関西支部会員間の交流の活発化に寄与する。
2. 応募資格
 - (1) 過半数が日本気象学会関西支部会員からなる3名以上のグループであること。
 - (2) 異なった機関に属する会員で構成されていること。
 - (3) 次のいずれかの方法で研究成果を公表できること。
 - ・日本気象学会大会で発表
 - ・日本気象学会関西支部年会・例会で発表
 - ・気象学会刊行物への投稿
3. 助成件数 年1件
4. 助成額と助成金の用途
 - (1) 助成額は15万円以内とする。
 - (2) 助成金は、消耗品費、旅費（例会等での発表にかかる旅費を含む）、通信費等にあて、備品購入にはあてない。
5. 募集
助成金受領グループの募集は、「支部ニュース」によって行う。
6. 助成金受領グループの決定
助成金受領グループは、常任理事会で選考し決定する。
7. 要領の改廃
この要領の改廃は、理事会で審議し決定する。

2004 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集

2004 年度関西支部調査研究奨励金候補者を募集します。受領者は会員の推薦に基づいて常任理事会で選考し、6 万円の奨励金を授与します。関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を推薦していただくようお願いします（大学は除いています）。なお、締切日は4月23日（金）です。

推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先（住所と電話番号）
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

なお、受領者は規定により、研究内容について年会、例会、又は日本気象学会大会で発表していただきます。

年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について

2004 年度に関西支部が発行する刊行物の購入には年間購読予約が便利でお得です。年会購読予約をされると、本代が2割引（通常1冊600円のところ480円）となるほか、発行のたびに速やかにお手元にお届けしますので、どうぞご利用ください。申込締切日は4月23日（金）です。

- 1 お届けする刊行物 : 年会講演予稿集（1冊） 例会講演要旨集（3冊）の計4冊
- 2 年間購読予約の方法 : 次の様式により事務局へお申し込みください。
- 3 年間購読予約料金 : 郵送の場合2,720円（送料込み） 事務局手渡しの場合1,920円
- 4 支払方法 : 第1回配本時に同封する郵便振替用紙によりお支払いください。

日本気象学会関西支部年間購読申込書

申し込み部数 _____ 部

・氏名または団体名：

代表者（ _____ ）

・送付先住所：〒 _____

・連絡先電話：TEL _____（ _____ ）

FAX _____（ _____ ）

・連絡先 E-mail アドレス：

・受取方法 _____（ 郵送 / 事務局手渡し ）

バックナンバー情報

既刊行物のバックナンバーは以下のとおりです。

<夏季大学テキスト>（括弧内は残部）

17回 1995年 天気予報を上手く使おう（5）

18回 1996年 気象・気候の科学 - 見る，聞く，世界の気象（36）

19回 1997年 天気変化の仕組みと新しい天気予報（0）

20回 1998年 日本に影響を及ぼす熱帯の気象 - 台風・エルニーニョ現象・モンスーン（11）

21回 1999年 大雨と災害（0）

22回 2000年 リモートセンシングと気象（0）

- 23回 2001年 気候変動(180)
- 24回 2002年 生活と気象(170)
- 25回 2003年 ~雨~(25)

<年会講演予稿集>(括弧内は残部)

- 1992年(1) 1993年(0) 1994年(0) 1995年(0) 1996年(32)
- 1997年(0) 1998年(0) 1999年(4) 2000年(30) 2001年(21)
- 2002年(32) 2003年(33)

<例会講演要旨集>(括弧内は残部)

- 67回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(5) 68回近畿(大規模現象からメソ現象まで)(5)
- 69回四国(局地気象と中小規模現象)(5) 70回中国(中小規模現象と局地気象)(6)
- 71回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(6) 72回中国(局地気象と中小規模現象)(4)
- 73回四国(局地気象と中小規模現象)(6) 74回近畿(海洋気象学会と共催)(海洋と気象)(2)
- 75回近畿(大気組成・物質輸送・総観気象)(62) 76回四国(局地気象・中小規模現象)(56)
- 77回中国(中小規模現象)(54) 78回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(61)
- 79回近畿(中小規模現象)(21) 80回四国(局地気象)(32)
- 81回中国(中小規模現象と局地気象)(30) 82回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(32)
- 83回中国例会(15) 84回近畿(地球規模の気候変動と局地気候)(9)
- 85回四国(局地気象・中小規模現象)(19) 86回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(19)
- 87回近畿(西日本における最近の台風・豪雨)(5) 88回中国例会(15)
- 89回四国(局地気象・中小規模現象)(19) 90回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(0)
- 91回四国例会(27) 92回中国例会(4)
- 93回近畿(海洋気象学会と共催)(4) 94回中国例会(36)
- 95回四国例会(53) 96回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(13)
- 97回中国例会(17) 98回四国例会(39)
- 99回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(22) 100回中国例会(41)
- 101回四国例会(38) 102回近畿(海洋気象学会と共催、海洋と気象)(27)

バックナンバー御希望の方は事務局まで、下記様式により、郵便または手渡し、FAXあるいは電子メールでお申し込みください。バックナンバーの郵送を希望された場合、代金(400円、送料別)はバックナンバー送付時に同封する郵便振替用紙にてお支払い下さい。

(バックナンバー用)

日本気象学会関西支部予稿集・要旨集等申込書

- ・氏名または団体名: 代表者()
- ・送付先住所: 〒
- ・連絡先電話: TEL() FAX()
- ・連絡先E-mailアドレス:
- ・刊行物名と申込部数:
 - ・ 年度年会講演予稿集 部
 - ・ 例会講演要旨集 第 号 部
 - ・ 第 回夏季大学テキスト 部
- ・受取方法 (郵送 / 事務局手渡し)

住所変更される方へのお願い

4月は転勤・就職シーズンです。会員の皆様の中にも住所や職場を変更される方も多いかと存じます。「天気」や「支部ニュース」などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の移動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には「天気」や「支部ニュース」が旧勤務地に発送され、旧勤務地の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により住所（勤務地）が変わった場合、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

特に3月末から4月初めに転居される会員の皆様につきましては、出来るだけ早く（3月下旬までに）、学会本部事務局宛に、下記の事項を郵送、FAXまたは電子メールでご連絡ください。

送付先：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁内 日本気象学会事務局
TEL 03-3212-8341（内2546）
FAX 03-3216-4401
E-mail metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp

住所等の変更届

・会員番号： No.

・氏名：

・旧勤務地（旧住所）：〒

・新勤務地（新住所）：〒